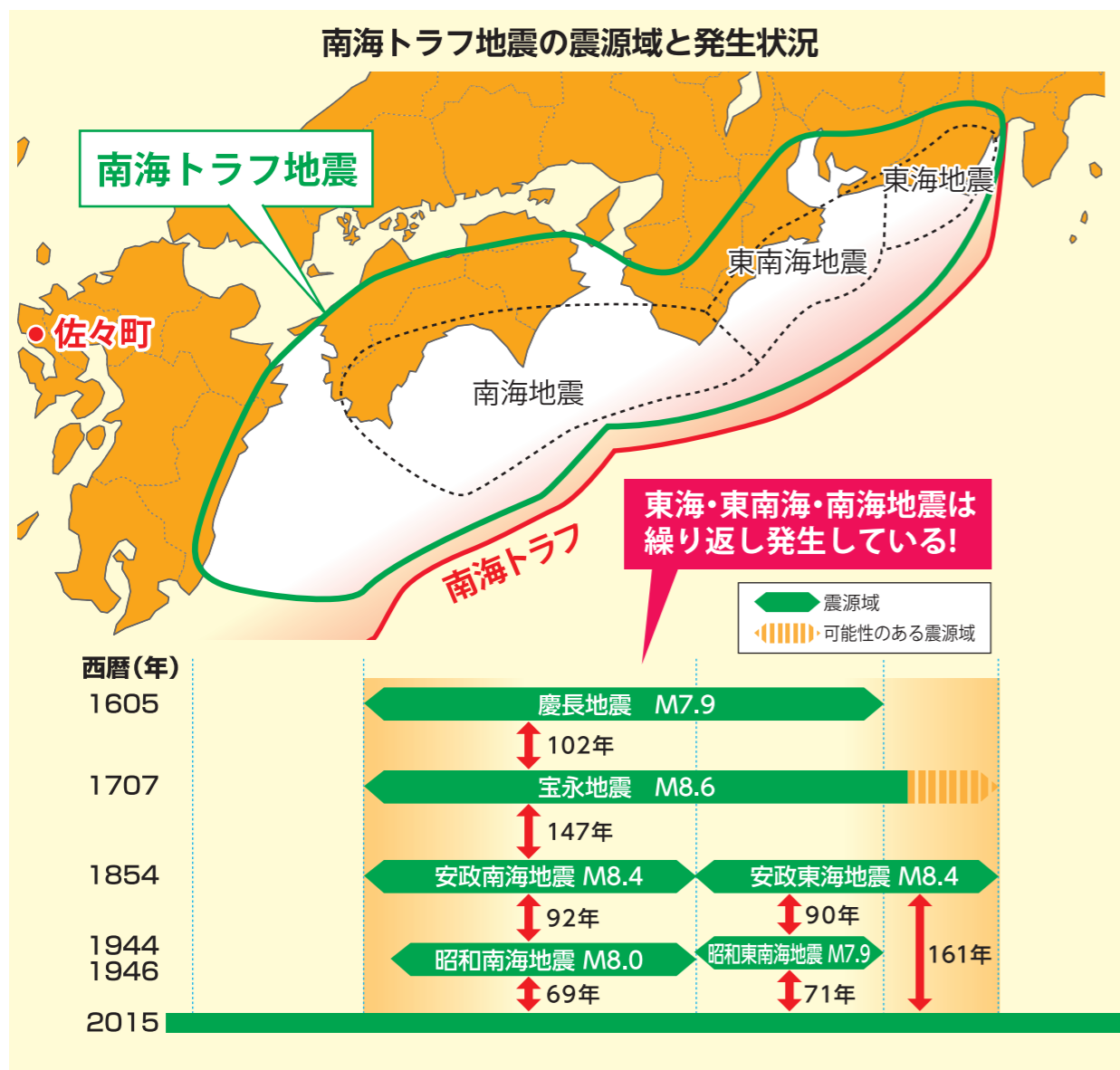


佐々町にも地震は起こるの？

日本全国で南海トラフ巨大地震の発生が懸念されています！

静岡から九州近辺まで伸びている海溝(南海トラフ)では、「東海地震」、「東南海地震」、「南海地震」が、おおむね100年から150年の周期で発生しています。南海トラフ地震は、この3つの地震の震源域を合わせた範囲よりも広い範囲を震源域として想定した地震です。

※震源域…地震の発生によりずれ動いた岩盤の範囲のこと。震源域が広いほど規模の大きな地震となる。



長崎県内で想定される被害

マグニチュード	建物全壊	直接被害額	死者数	避難者数最大	断水
9.0	400棟	1,000億円	80人	1万8,000人	2,000人

南海トラフ地震は震源域がとても広く、関東から九州一帯に大きな被害をもたらすと予測されています。特に、沿岸部では津波による大きな被害が懸念されています。

どのような危険性があるの？

地震時の行動

地震が起こったら、まず揺れから身を守ることが大切です。身を守るための対処法を覚えておきましょう。揺れから身を守った後は、状況を確認するために情報収集をしましょう。

屋内にいたら

家の中では

- 大きな揺れを感じたら、テーブルの下に隠れ、身を守りましょう。
- 裸足で歩きまわらないようにしましょう。
- 乳幼児や病人、高齢者などの安全を確保しましょう。



会社では

- 窓際や資料棚など、物が落ちてくる場所から離れて、机の下などに入って身を守りましょう。

安全確認

電気・ガス

避難が必要な時には、ガスの元栓や電気器具からの出火を防ぐためブレーカーを切り避難する。

学校では

- 先生や校内放送の指示に従いましょう。
- 教室にいたるときは、すぐに机の下にもぐり、身を守りましょう。
- 窓や本棚から離れましょう。



エレベーターの中では

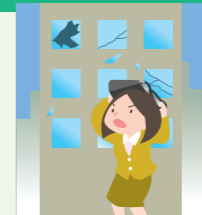
- 自動停止した階で降りましょう。自動停止しなければ、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出ましょう。
- 閉じ込められたときは、非常ボタンやインターホンで連絡をとり、救出を待ちましょう。



屋外にいたら

繁華街では

- ガラスや看板などの落下物に注意しましょう。
- 頭上からの落下物があるときは手荷物などで頭を守りながら、近くのビルなどに逃げましょう。



地下街では

- 柱や壁に身を寄せて、あわてずに揺れが収まるのを待ちましょう。
- 火災が発生した場合は、ハンカチなどで鼻と口をおおって、壁づたいに姿勢を低くして地上をめざしましょう。



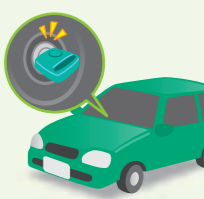
電車の中では

- 転倒や落下物に注意して、つり革や手すりにつかまりましょう。
- 座っているときは、足を踏ん張って状態を前かがみに、手荷物などで頭を守りましょう。



車の運転中では

- 道路の左側に停車し、揺れがおさまるまで車内ラジオなどで情報を聞きましょう。
- 避難が必要なときは、カギはつけたまま、ロックせず、車検証などを手元で持ち、徒歩で避難しましょう。



地震から身を守る方法

1 まずは！



- 落ちついて、自分の身を守る。
- 揺れがおさまってから、すばやく火を始末する。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確認する。

2 次に…



- 火元を確認、出火していたら初期消火。
- 家族や周りの人の安全を確認。
- 非常持出品を手近に用意する。
- 逃げるときは靴をはく。
- ブレーカーの切断。